

令和5(2023)年度下都賀地区初任者研修会(学習指導、児童・生徒指導)を開催しました

日時 令和5(2023)年8月24日(木)実施
会場 栃木市大平文化会館・栃木市大平公民館・大平勤労青少年ホーム
対象 下都賀地区令和5年度新規採用教員

1 研修の目的・内容等

(1) 目的

- ① 学習指導や児童・生徒指導等について基礎的な指導力の向上を図り、自信と希望をもって日々の教育活動に取り組めるようにする。
- ② 職務に専念することなど教職員としての使命を自覚し、自己啓発に努めようとする態度を養う。

(2) 会場

栃木市大平文化会館・栃木市大平公民館・大平勤労青少年ホーム

(3) 内容

- 講話(※事前の動画配信 7/25~8/21)
「学業指導について~児童・生徒指導の充実~」 下都賀教育事務所 学校支援課 担当
- 趣旨説明
- 学習指導に関する研修
- 児童・生徒指導に関する研修



2 本研修で確認したこと

(1) 講話「学業指導について」及び趣旨説明より

- ① 児童・生徒指導が目指すもの
・児童・生徒指導の目標は、**自己指導能力**を育成することである。

「その時、その場で、どのような行動が適切か、自分で考えて、決めて、実行する能力」

- ・自己指導能力の育成を図るためには、大きく**4つの働きかけ**が重要となる。

- 一人一人が「**自己存在感**」を実感できる場を設定すること
- 「**共感的人間関係**」の育成を図ること
- 児童生徒に「**自己決定**」の場を用意すること
- 「**安全・安心**」な風土を醸成すること

キーワードは「**存,共,決,安**」

- ② 未然防止、早期発見・早期対応
・問題行動等の早期発見の前段階となる「**未然防止**」の取組を充実させることが大切である。
・未然防止の取組は、すべての児童生徒が対象となる。
- ③ 学業指導について
・未然防止の視点に立った児童・生徒指導は、学業指導と深く関わっている。
・学業指導を推進するには「**学びに向かう集団づくり**」と「**子どもが意欲的に取り組む授業づくり**」の両側面から取り組むことが求められる。
・先生方一人一人が明確な目的をもち、学業指導の充実に向けた取組を意図的、計画的に実践することが大切である。
・本研修のテーマである「**学習指導**」と「**児童・生徒指導**」は、**一体として捉える**ことが大切である。

3 本研修で学んだこと（研修者が記入した「研修の振り返り」より）

- ・単元のゴールを意識した授業づくりについて学びました。ゴールから計画を立てることで何を行うべきかが見えてきて、以前より授業がつくりやすくなるのではないかと思います。
- ・道徳科が何を目指していて、どのような力を子どもたちに身に付けさせるのかを理解した上で、授業づくりに励んでいきたいです。
- ・情報活用能力について、改めて理解することができました。教師が「教える」から「導く」ことを意識して、これからの授業を行っていきます。
- ・言語活動の重要性を意識することができました。英語をただリピートするだけではなく、子どもたちに選択肢を与えるなど、少しの工夫で言語活動が充実すると感じました。
- ・学びの主体が子どもであることを再確認しました。「何ができるようになるか」という資質・能力の三つの柱を意識した授業づくりを進めていきたいです。
- ・理科の授業づくりにおいて、実験の際に必要なポイントや、学級の実態に応じて時間をかけるポイント等を見つけ整理することで、よりよい学びにつなげることができると感じました。
- ・体育を通して運動が好きになり、自己有用感を高められるような授業を展開していきたいです。
- ・自分自身の人間性や、その場その時の対応が鍵であるからこそ、相手を思う気持ちが人権教育につながるのだと感じました。
- ・グループエンカウンターについて深く学び、その効果を実際の活動を通して学ぶことができました。今後、授業等で積極的に活用していきたいです。
- ・立場や役割の違う教職員が集まる学校だからこそ、それぞれの立場、役割に応じた動きをすることが大切であると実感しました。チームとして動ける学校の一員になれるように努力したいです。
- ・アイスブレイクやテーマトークを行うことで、保護者同士の関係性がより深まることを体験的に理解することができました。子どもたちの笑顔のため、保護者とのつながりを大切にしたいです。
- ・いじめの定義を理解した上で、いじめを起こさない雰囲気づくり、学級経営を行うためには、まずしっかりと普段から子どもの話を聞き、「この先生なら話してみよう」と思ってもらえるような人間関係を築くことが大切だと感じました。
- ・どんなクラスにしたいか、どんな子どもになってほしいか、という想いや願いを積極的に子どもたちに伝えることが大切だと感じました。学級目標を定期的に振り返り、共有することで、学級が一つになれると思います。
- ・児童・生徒指導において、未然防止の視点や、観察・共有を徹底して行うことの大切さを学びました。子どもの成長につながる指導を心がけていきたいです。
- ・子どもの見本となる教師が、主体的に学ぶ姿勢や学び続ける姿勢を子どもたちに見せ続けることを意識して、日々の指導に当たっていききたいです。
- ・他の初任者の先生方と交流しながら研修を受けることができ、自分の考えを広げ深めることができました。新しく得た知識もたくさんあったので、今後に活かしていきたいです。
- ・学習指導と児童・生徒指導は強く結び付いており、どちらも子どもを育てていく上で大切な指導であると感じました。2学期以降も、全力で子どもたちと向き合っていきたいです。

